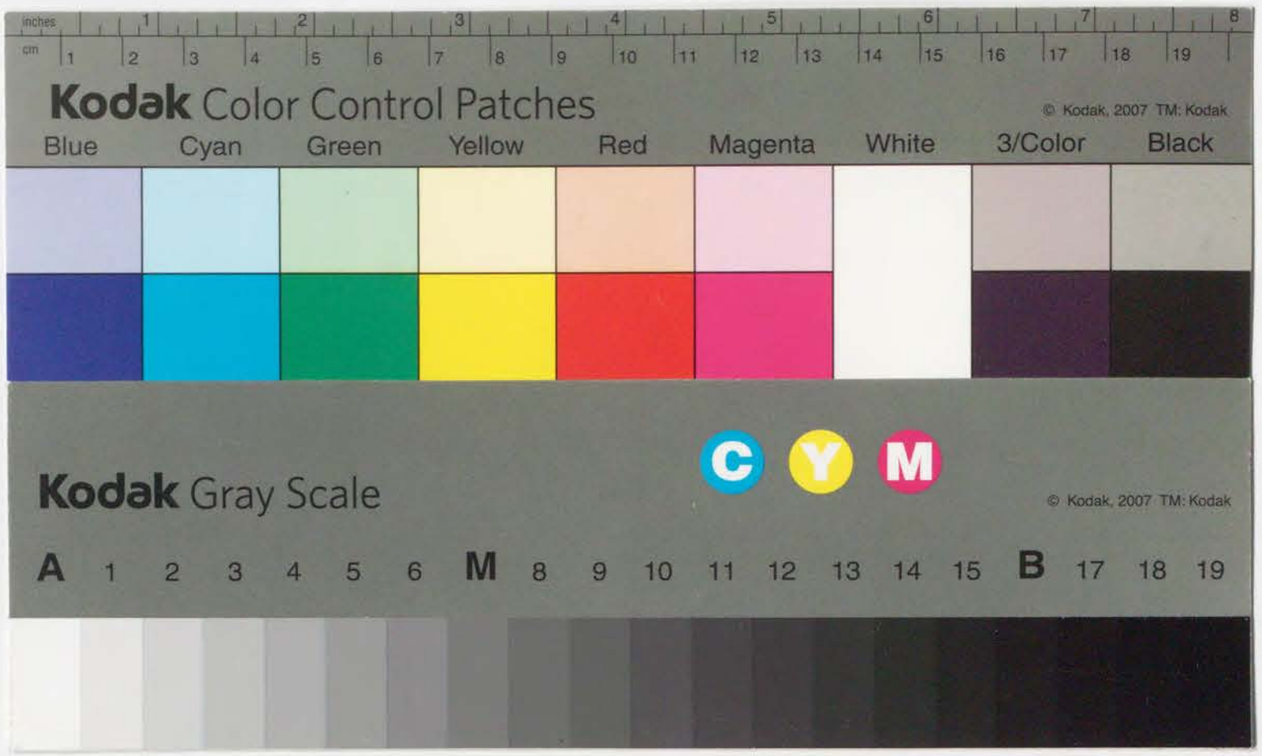

Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black
Kodak Gray Scale
C
Y
M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

首書
一十四卷

頭書二十四孝

はるくにかりんぼ者はの世ゆるす父母かくしこゝろ。
父母あれどもなかりぼ人物ゆるす人物われど
なを其中ようり。典拾人と紅丸父母恩重経に
とりてあひて孝をびたをわるべくばるとをしへ
又儒丑孝経に行べくのり。版く鳥獸もと孝をわ
つ。況人と孝なりふい言ばくれとれりぼ。
此二十四孝乃記ばをこゝろばわさとろなるわろ。
書ばりてあそびしてしわしてぞ浅より浦ゆ
いろり絵くぞ。ぞうこ物と楽と楽物ゆし

大舜

第一大舜 此人孝行の徒にして王位をゆづりて
才一ゆくに舜とり給ふたのゆゑ
りてゆゆ日いぬんゆそはゆゆへ
かめたりしていくぶるゆうたりゆ
いすぐ民ゆそ田とつてゆ河ぶ河
のゆいそ花といひたりぼふゆの徒よ
つて爰にゆ花とうけつぎたりぞれう
孝にゆゆそいそ花といひとそ
ぼのぼんとうたるゆ民の力としたぐ
いゆさ信ふのゆりゆるゆとかゆて舜
といりたるし信ふのゆり舜ゆとりゆ
ゆは三十三乃ぼ年ゆりぼゆいすぐ民
ゆそ二年ゆりゆ田のゆるゆり

陽く耕耨

紡く織革裔

嗣堯叡聖 信心感動天心

大舜いいたりて孝行ゆるゆ人ゆり

文の公醫更

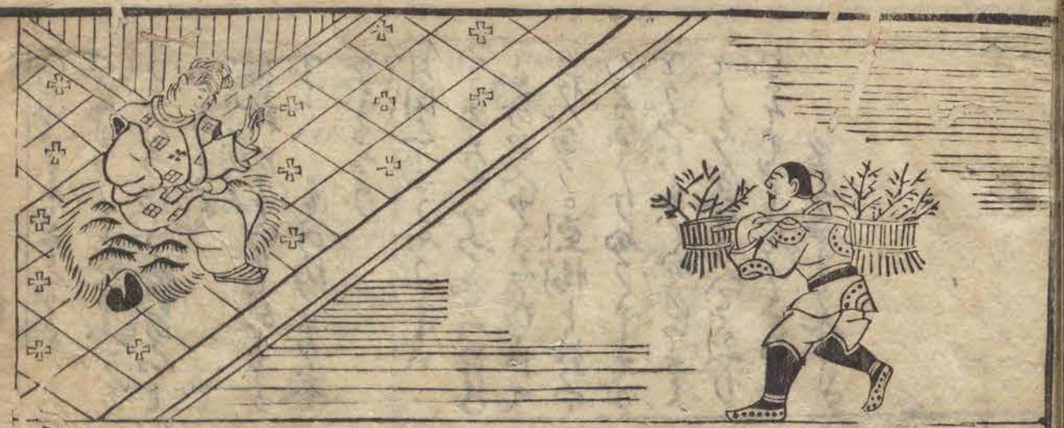
文の公醫更とてそろくとおかしてあいらるる
ものなり。ちくこしにわくんく舜と
おくらたるものてけいがみて多くと
りなとまつりけるをへ舜とと
ろくんとて文おいろくごけ会
くれど文をと渡りてところす
たくをせりく舜おろのくごとわく
せて文とおとをくおひとつけて
やくところくんとおくれどかひてを
たくをとりてくをを二つおくて
ねおりてとびとりくりく。又いのりく
てほくせたりく。舜おろくかりくを
おを文とたくとの舜と二人くして
おりとりけてうづめんとおくりくをと
もくをくをのおくをおてくりくて
くれどかををおをけくておくりく。
くりおを文無をくくをくをおつらくあ
たくくれどくをくもおつくけ
つくをりをくくくーくたくくくあ
ひーくをひくくくのくをたたふ。舜おろ
くくのひて舜おろをくをこーくたて
おを位てゆづくせのひけるおり。
けをくんくんいくおくをおりをくを
おくべーくをたくおれのくをくをく

文帝

文帝代ゆまれ下代法
みみえたり

仁孝徐天下　巍々冠百王
漢廷事賢母　湯茶必親嘗

仁孝の徐天下とおのづから
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗
文帝は漢代の
仁孝天下にのぞみ
巍々たる冠百王
漢廷の賢母に事へ
湯茶は必ず親嘗



曾参ハ東魯武城人
嘉祥縣の人。孔子の門人
僞道とまるびて孔
子の門統の偽つき

曾参

母指絶ツ方ニ喫
貧窮ハ未晩
児公痛不堪
骨肉至情深

ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人
ゆびをくいきりてとくにかけつけるうれしさにたえかねてもくらき賢人

廿七　黄香

冬月温衾煖　夜天蚊拉深
児竜知子職　千古一黄香

黄香は九歳にして母を亡くしたり父の
ひとりなる父を文字をもてあつかひ
ばかりなる父をいとをしみ
わかれ惜しゆゑとむかひの
そぐもつ　しゆ　そ　ろ

善かり

唐夫人崔氏は唐の博陵の崔氏の姓の名なり

第十　唐夫人

孝敬崔氏婦　乳姑晨温枕
共息云仏報　頤得子孫如
唐夫人年十五にして長孫
夫人年十五にして万食の
くらいをうけ　いゆへ姑に
とめ　式いあさごとに姑
のみ　ぐ　孝をつくせしなり
武内姑をうづしんつくして

十四 朱買臣

七歳生離母　参商五十年

一朝相見面　孝気動皇天

母乃合さんとすれども父の
とゝけて孫ふたりをつれ
うゝん。右拾匁の母へ
とゆうふのうんらせげ
でし。母に二度えぐしずとて夫婦
みはまとはあらず。郭巨
あて洞のごとくにかりられど金の
出しくれり。祝ふ母ふたゝび郭巨
うどうすとえぐも民ありとえぐれ
ゑぐつきまけて母ゝ。

十五 朱買臣

朱買臣、字は長
ろうこ。七歳の
母ふわうもて
ダろ母ごくあ
ろ。しづわふ
文雍列のち
つてあつ
の女ろうこ
あられて
宋代の時ふ
緑ですて。
ワずあ
して弱出
あてあつ
の年七十
孝ひとの
の法とい
のろ人ふ
ばゆふ
ろまあり

母ごろろい七九
又子母とさりろ
子母とくごりれ
ばけまとみげろ
もつあふしばまる
十年ふたまつあろ
き朱買臣ろうへあり

庾黔婁八万秋の
十六　庾黔婁
到縣未旬日　藤遊擾孫
形枯身代死　北望啓憂心
庾黔婁いまんせいのそさ
れ人なり。彭淡縣くいと
うろの官人なりて
別所淡恵へいてけり。
いまだ十日もすぎ
ざるに。母うせぬ。
さいぐさうろうろ。

とうろうさせもつて
ゆ中やとおひてくんと
ものごとくこうとなそこい
ぐいゆ中でやとおつて
ゆ紙ふろつ屋をふとふ
ふしぐろくふあつくさふれ
あつるもひとちぐふ春の
ふうくさゆへあそわくし

てゆ中ゆ中へどれつう乳と
ちんとちんとおひてくんと
ものごとくこうとなそこい
ぐいゆ中でやとおつて
ゆ紙ふろつ屋をふとふ
ふしぐろくふあつくさふれ
あつるもひとちぐふ春の
ふうくさゆへあそわくし

十七　山谷

貴賤安天下
汲泉消溺
平生孝事親
娶妻豈無人

山谷宋の世の人なり。
いまふいてうつくしかりつる
去程師といとくんぬる
乃ちゆうこう人なりいくそ
書しあるをでくしうつる母
乃ちふ仮をこしうなりひ
てぞうりいりけるぞれ

王裒。晉。泗の人。父の
獸をくらひ。母をうしなひ
つゝしみて門をとゝのへ
しかるのち。ひとりすまし
さくをそせをつくり。
ゆるるのち。ゆかず。
ずゝの王裒ハ
もつてみしかれし
都ふころ。
でもそうみ
そめふもと文章の
行方ひりすき方
さあり。
つ。ふみ
ひらつ。
じが
蓋母らいとす
るとハ。ぶ
るとりつ。
虫文。
ぐ。ぶ。
ゆ。ふ。

十八　王裒

母伯父雷　氷魂宿夜基

阿香時一震　到墓遶千廻

王裒ハ。いのんとつ。
の人。
父乃わりぐ。
ハ。
門よ
つ。
ふ。
ま。
一。
ぐ。

楊香 [illegible] 国の人
十五才のとき父と山に
けるときのみちにて
虎いでてふたりを
きふせんとせしを
者のがれんとせし
それをふせげたりし
孝行の心あつく
天子のちかくめし
りひろくひろめて楊
香わかきものなれど
とらをば月ふすぐ
いくりくぶ
ますます孝の心
いよいよのがれ
ゆるふるふ
くあり
えんぶ
涙ふるくく
てしい
しまろさ
いろ
とくいろ
みそ
たくしい

十八 楊香

父子俱無恙　脫身虎口中
楊香ひとり氏父ともら
くりぶるとも氏父と山中
へ行きるふあるたるとり
あひとり楊香父の命
なりしるとんるとるの
そのら氏たい　しーん
どもるのくすぶをとも氏

[illegible]
山逢白額　勞力搏虎

○努力をそせ用とうとい
しつまこさいうたくま
くまこいうのるし楊
香がいろとてうとをかつい
とくいつし
○父子ともつぐなしこと
楊香が孝行をつうじて
虎がそれたくみつぐな
くわしいつしんの
こふこのしこのゆうか
うくうぐのしいつし
○脫俗たうこうたうち
とい こんこうとうこくく
ちといふ父子のしこんふたう
うくがんとうんとせしこ
とのんこうしこぞふたや
このぐこうこのたのゆこうこ
つたうゆうあやうここ
こをけぐをたうい孝りの
う ここどくこたのいた
けあそゆう

○張孝張乙は兄弟
まづしくせをそ
ちひそうし
○偶つこうんし
あやこいぬをくんに
こうこの中ふくいま
どこふあひこう
つくこ林といみこ
のこやしこんふ
たうこし。児こ
こしひ家しひこ
なるして
○代熹をこひこ人
うたうぬをんぐこう
こうこてをこうこ
ふあふぐひうこ
ふんとたこぐり
こんこいうたこ
ぐたこぐやヤをに
こここてあれこて
うまとこをあこ
ひこうこすし
○人皆ここてあり
とい。人ふいたをこ

二十 張孝張乙

代熹云漣肥
張氏古今稀

人皆有兄弟
張孝張乙兄弟あり。世
間をこんのとこれり。八十
あまりこれ世代屋しこ。
本はこをひろいこゆき
こみをこぐいうこうこんふれ
こびこる妻 こうこて張
礼をこうこてぐこうこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

れなどをとりてうゑ木のもとに風
ふきもちらさぬやうにかこひをなし
ごとくにかこひをなしてはるの
えだをふみちらすことなかりしかば
しばらくのあひだにうゑ木のもとに
ちりつもりたるはなびらをはらひ
のけんとおもひてうゑ木のもとに
ゆきいたりてはなびらをはらひ
のくるにはるかぜいたりてはなの
ちりのこりたるえだをふきゆるがす
はるかぜのえだをふきゆるがすこと
なかりしかばはなびらはことごとく
うゑ木のもとにちりつもりたり
とすなはちはなびらをはらひのけ
ずしてうゑ木のもとをはらひ
のけずしてはるかぜのえだをふき
ゆるがすことなかりしかば

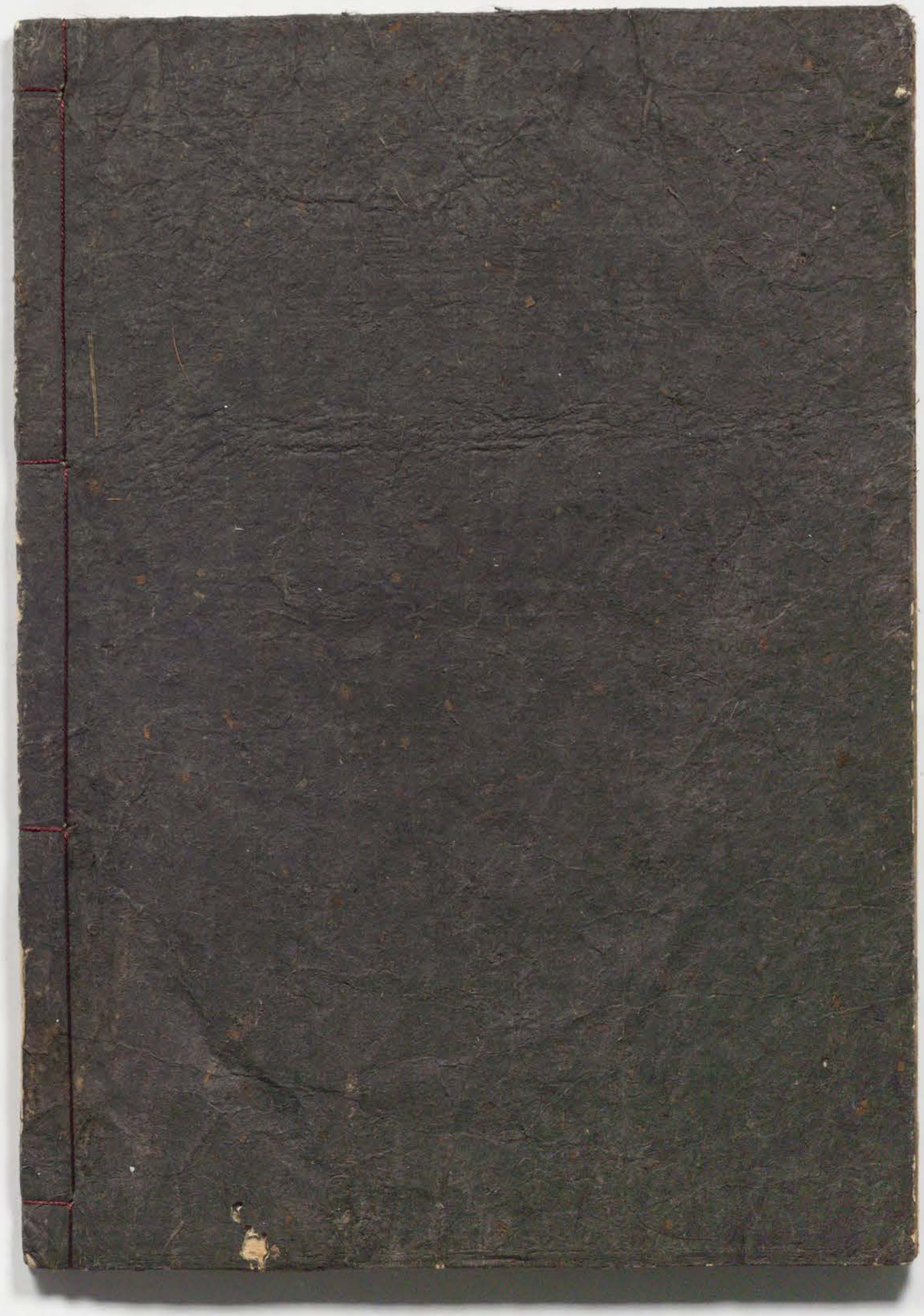
○斤氷摸ふゆすしとハ
れいつかゆ乃あとゆあ
るくとぽの世すでもあ
氷摸○氷いろり摸ハ
いろとよむ家し王祥が
あしのこいまのぐいくみ
てゆとうつくろぐしく
みてもし若りのゆくと
うそ天つもふるひろ
しふそ紙が氷のうにわ
ゆくりいそしきゆすし。
ゆてもうふわくこと紙。
いとでうひとひろ
しんるろ乃ろくこ
乃れのぐくあるゆ
くせくすみし仏祥
ひんとゆりのゆくこ
ちゆばそつぐしゆ。又
ゆうみんとじ鬼祥ふ
いりゆくろおくこ
てかとゆろがしゆ子孫ん
おうすうみし

○刻木為母　形容在日身と
母のすぐとつり
ゆくりくり
○形容在日身と
いそてゆ
じくりくゆ
せゆり
ゆくくゆ
しろりの
うりのくこれと
ゆくくとゆる。
この孝ひとり
くすゆ
ゆてくるゆ
にくせよ　とゆ
しろくゆたくい
くゆくゆ
ゆせくゆ
ゆり
ひんゆ
くゆ

二十三　丁蘭

刻木為母　形容在日身
丁蘭　丁蘭が河内乃郡とし
つくられ人なり。十
ゆれとし母ゆ行くもこ
つぐれとゆしみく母の
くちと木像ゆつくて
紙夕ゆくくちくゆ
とくゆつくゆ

入わらうるし。緑橋とハ
うつくしく書くしたるを
そののるし
。毋ふそくうてゞんわふ
ずとハ　ゞんわとゝ
すとゝのふ後し。ぐにと
つて合せるせそくゝ
とゝふのり。又びんと
て続述ゞんゞゝるわ
それてやゝるうあて
して毋のゝゞゝりゝり
らゝんゝありぐゝふ
しき考りあて

つれとゝしゝゝり。表述えとゝそぐゝ
あるゝ人ゝ毋ゝしゝゝ
ぐゝ。ゝゝゝゝゝゝゝ
とみゝゝゝ。毋ゝわゝゝんゝゝゝ
とゝひゝゝり。表述えとゝゝゝゝれ
ゞゝゝふゝゝゝ。古今ゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝれゝ考り世ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ万民ゝんゞゝし

天和二年壬戌初春吉日
萬屋
庄兵衛板行